

そろそろ役所も西暦表記主体に

無職 乙幡 俊之

(東京都小平市 68)

主体にしてはどうだろう。

「ええと、今、平成何年だった」。公民館の利用報告書を書くときに、戸惑うことが多い。西暦なら2010年と覚えており、スムーズに記入できる。そろそろ公共施設で住民が直接かかわる部署について、元号ではなく西暦を

日本の伝統の元号を否定はしない。ただ、日常生活では、世界共通になってきた西暦を主体にした日々を送っている。新聞が西暦主体の表記になってから久しいし、民間ではこの10年、20年の間に西暦主体に切り替えた企業も多いのではないか。今年も終わ

りに近づき、街角では来年の日記や手帳、カレンダー、家計簿などが売られているが、そのほとんどが西暦主体だ。

高齢者になれば、物忘れもひどくなっていく。役所は住民の利便性を第一に考えるべきだ。役所が西暦表記にしても、元号は文化として残っていくだろう。もはや役所だけ元号表記に固執するのは時代錯誤ではないだろうか。